

■平成29年度執行目標 上下水道部

部局	課・室	番号	執行目標項目	執行目標の内容	背景・課題・留意点等	項目 (単位)	根拠計画等	H28 実績値	H29 目標値
上下水道部	水道業務課	1	水道メーター検針月の隔月化	「安心・安全な生活と快適な暮らしを支える水道」を将来にわたって維持するために、経営の効率化・経費削減を目的として、水道メーター検針月の隔月化に向けた準備を行う。	平成27年度～平成28年度における水道料金及び公共下水道使用料審議会の答申や経営改善計画、財政収支計画に基づき、平成30年10月から水道メーター検針月の隔月化を導入できるよう、条例改正及び検針業務受託者との調整等を行う必要がある。	条例改正数 (本)		—	2
上下水道部	水道業務課	2	経営状況等の公表	市民に対する説明責任を果たせるよう、水道水の安全性、防災情報、財政状況、経営改善計画及び財政収支計画の進捗状況などをホームページで積極的に公表する。	平成27年度～平成28年度における水道料金及び公共下水道使用料審議会の答申に基づき、水道事業に関する情報を積極的に公表し、「安心・安全な生活と快適な暮らしを支える水道」を将来にわたって維持できるよう、市民に関心を持っていただく必要がある。	ホームページ記事掲載回数(回)		—	2
上下水道部	水道工務課	1	「水安全計画」の作成	水道工務課を中心とした「水安全計画」の策定及び推進チームを編成し、水道システムの把握、危害分析、管理措置の設定を行い、各浄水場の「水安全計画」を作成する。	厚生労働省が統合的な水質管理として、世界保健機関が提案している「水安全計画」の策定を推奨しており、木津川市水道事業においても、安全性の向上、維持管理の向上、技術の継承を目指すために、「水安全計画」の作成に取り組む。				
上下水道部	水道工務課	2	布設水道管の更新整備	水道事業における経年水道管(石綿管)の耐震管への更新を図る。	地震等に比較的脆弱な石綿管を耐震管に更新することで、漏水による修繕費や無効水量の低減を通じて経費節減を図ると共に災害に強い管路を構築する。	工事施工延長(m)		500	1330
上下水道部	水道工務課	3	水道施設(電気・機械・計装)の更新計画の策定	昨年度作成した「電気・計装・ポンプ設備の台帳」の必要情報をデータ化し、現在、取り組んでいるアセットマネジメント(資産管理)業務とのマッチングにより、当該水道施設の重要度・優先度を踏まえた更新需要を把握することが可能となることから、ライフサイクルコストの低減や計画的な更新事業(平準化)に資することを目的に、中長期的な視点を持って「水道施設(電気・機械・計装)の更新計画」を策定する。	設備部門において、老朽化に伴う突発的な故障を防ぐために作成した「電気・計装・ポンプ設備の台帳」を活用し、設備の製造年月日や劣化状態等を把握することにより更新需要を見通し、財政収支とのバランスを考慮しつつ、更新計画を策定する。こうした計画的な更新投資により、突発的な断水事故の軽減や水道施設全体のライフサイクルコストの低減を目指す。なお、策定にあたっては、現在、進めているアセットマネジメント業務における成果との整合性を図る。	定例会開催回数(回)	水道ビジョン	—	5
上下水道部	下水道課	1	汚水処理施設の概成	平成32年度の汚水処理施設の概成に向け「木津川市アクションプラン」に基づき、未普及箇所等の公共下水道の整備を図る。また、個別処理地域の理解を得ながら、持続的な汚水処理施設の整備を図る。	公共下水道の整備は計画通り進捗している。平成28年度の工事で、工事の中断、繰り越しが有り一部遅れが生じたが、平成29年度で解消する。また、個別処理地域の説明は、地域長等と行ったが具体的な進捗は図れなかった。				
上下水道部	下水道課	2	下水道事業経営戦略の策定	下水道経営環境が、少子高齢化や節水機器の普及などにより厳しくなると予想される中、安全で快適な下水道サービスを持続的・安定的に提供するためには、効率化、経営健全化に取り組み、投資の見通しと財源の見通しを均衡させる必要があるため、その指針となる「経営戦略」の策定に向け、必要な研修に取り組むとともに、業務範囲・内容を検討する。	下水道事業は全国的に、保有資産の老朽化に伴う大量更新期の到来や人口減少等に伴う料金収入の減少等により、経営環境は厳しさを増してきており、経営健全化の取組が求められている。総務省では、「経済・財政再生計画」の「集中改革期間」である平成30年度までの策定を推進しており、本市においても「経営戦略」を策定し経営基盤の強化を図る必要がある。				